



環境活動レポート



株式会社ホクノー
2024年11月1日
(対象期間 2023年8月1日～2024年7月31日)



1. 会社概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社ホクノー 代表取締役社長 野地 秀一

(2) 本社所在地

〒004-0014 北海道札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：取締役管理部長 鈴木 和敏（連絡先 TEL：011-897-2012 FAX:011-897-2046）

(4) 事業の内容

食品小売、雑貨書籍販売および不動産、公園施設の管理、飲食

(5) 事業の規模（主要製品の生産量・出荷額・従業員数、事業所の延べ床面積等）

活動規模	単位	令和4年度
売上高	百万円	売上規模（2,915）
従業員	人	8h換算134人（総人数214人）
床面積	m ²	4,099

(6) 環境活動の対象期間と発行日

対象期間：令和5年度（2023年8月1日～2024年7月31日） レポート発行日：2024年11月1日

(7) 対象事業所一覧

① 本社	：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
② 中央店	：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
③ 新札幌店	：札幌市厚別区厚別中央1条6丁目
④ 厚別5条店	：札幌市厚別区厚別中央5条6丁目
⑤ 厚別東2号店	：札幌市厚別区厚別東2条4丁目
⑥ もみじ台南店	：札幌市厚別区もみじ台南6条1丁目
⑦ もみじ台ショッピングセンター直営店（リビングもみじ台、だいいち）	：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
⑧ 牛角ウエスタンパワーズ店	：旭川市永山12条3丁目
⑨ ホクノー園	：札幌市厚別区下野幌2006番地

2. 環境経営方針

基本理念

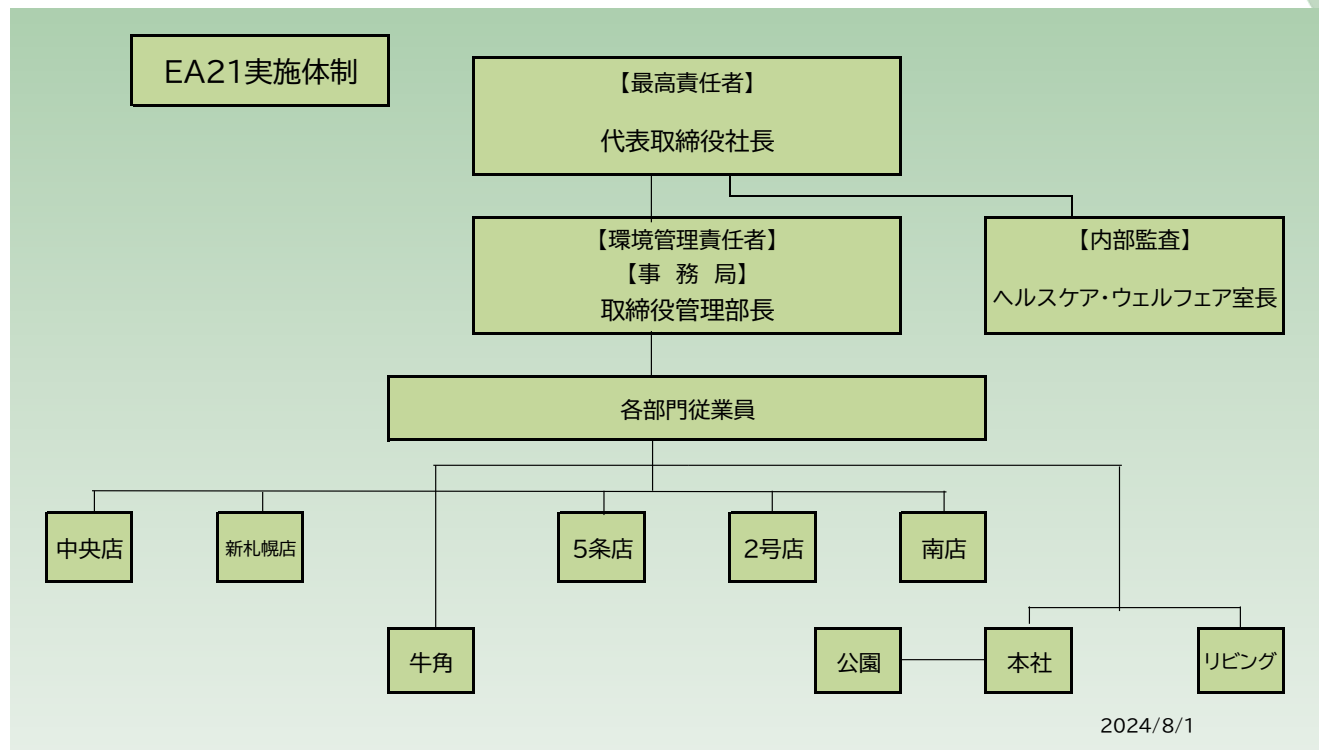
私たちは、お客様の豊かな暮らしを創造するために、安全・安心な商品・サービスを提供するとともに、地域社会の一員として地球環境に関する責任を厳粛に受け止め、企業活動と環境との調和を図り、環境汚染の防止、資源の有効利用に継続的に取り組み、より良い社会の実現に努めて参ります。

基本方針

- (1) 環境に関する法律、規制及びその他要求事項を遵守します。
- (2) 地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- (3) 水使用量の削減など省資源に努めます。
- (4) 食品廃棄物の抑制とリサイクルに取り組みます。
- (5) 環境に配慮した商品の販売、環境に配慮した店舗運営に努めます。
- (6) この方針を従業員に周知徹底し、定期的な見直し、継続的な改善を行います。

2021年8月1日
株式会社ホクノー
代表取締役社長 野地 秀一

3. 組織体制



4-1. 令和3年度からの中期環境目標

項目	単位	R02年度(基準年度)	R03年度目標	R04年度目標	R05年度目標
CO2排出量	kg-CO2	1,455,345	1,440,791	1,426,383	1,412,119
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
水使用量	m ³	6,071	6,010	5,950	5,890
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
一般ごみ排出量	kg	47,817	47,339	46,865	46,396
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
食品廃棄物排出量	kg	33,939	33,600	33,264	32,931
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
コピー用紙使用量	kg	881	872	863	854
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
レジ袋辞退率	%	91.1	91%	91%	91%
			前年維持	前年維持	前年維持

- ・ 令和4年度 二酸化炭素総排出量 1,046,048.54kg (前年度 1,192,473.89kg)
(温室効果ガス排出係数：北海道電力(株)0.535kg-CO2/kWh・(株)エネット0.325kg-CO2/kWh)
- ・ 食品リサイクル率 84.9%(令和5年度実績率)：基準実施率 91.1%(令和2年度実施率)
内 訳： 発生量 18,916kg (100%) (前年発生量 28,727kg)
再生利用量 16,160kg (85.4%)
再生利用等以外(焼却) 2,756kg (14.6%)

4-2. 令和5年度 of 取組と実績評価

(1)CO2排出量を毎年1.0%削減

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(kg)	1,440,791	1,426,383	1,412,119
(修正目標)		1,266,856	1,180,549
実績(kg)	1,279,653	1,192,474	1,046,048
目標比(%)	88.8%	94.1%	88.60%
評価	達成	達成	達成
取組内容	・一定の照度を確保しながら、照明設備の調光を実施し、大規模施設の照明は一部間引きする。 ・一時的に飲料等冷蔵ケースの電源オフを実施する。 ・令和5年11月に新札幌店全面改装実施。(冷凍・冷蔵庫、照明全面更新)		
実績評価	・節電による電力使用量の削減が効果を示した。暖房で使用する熱供給の節減を図った。 ・降雪量が前期より少なく、ロードヒーティング運転時間減少の効果が大きかった。 ・新札幌店の全面改装の結果、店舗電気使用量が半減したことも影響した。		



4-2. 令和5年度の実績と取組

(2) 水使用量を毎年1.0%削減

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(m³)	6,010	5,950	5,890
(修正目標)			
実績(m³)	5,978	5,898	5,878
目標比(%)	99.5%	99.1%	99.8
評価	達成	達成	達成
取組内容	・日々の朝礼、ミーティング等での繰り返し教育で従業員の意識向上を図り節水に努力し、引き続き更なる削減に努力する。 ・期中でも前年同期比、使用量が大きく上回っている店舗があれば原因調査を実施、改善を図る。		
実績評価	・前年同期比、使用量が大きく上回っている店舗が無かった。 ・改装・事故により2店舗各1カ月休業の影響も大きかった。		

(3) 一般ごみ排出量を毎年1.0%削減

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(kg)	47,339	46,865	46,396
(修正目標)		47,098	46,627
実績(kg)	47,574	47,751	46,203
目標比(%)	100.5%	101.4%	99.1%
評価	未達	未達	達成
取組内容	・札幌市環境事業公社の分別基準を今一度社内に周知し、再生可能な資源ごみの焼却を減少させるよう、更に分別を徹底する。 ・新型コロナウイルス沈静化に伴い、ジェットタオルを稼働、ペーパータオル使用減少に努める。		
実績評価	・新型コロナウイルス感染対策として、カゴやカートの消毒によるペーパータオルの使用継続の影響が残ったが、ジェットタオル活用により、ペーパータオル使用量が減少した。		



4-2. 令和5年度の実績評価

(4) 食品廃棄物排出量を毎年1.0%削減

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(kg)	33,600	33,264	32,931
(修正目標)		28,440	22,276
実績(kg)	28,727	22,501	18,916
目標比(%)	85.5%	79.1%	84.9%
評価	達成	達成	達成
取組内容	・スーパーの惣菜部門は、製造計画精度向上と発注量適正化、管理徹底により削減を図る。 ・令和4年度再生利用率は、89.3%と食品リサイクル法に基づく食品小売業の2024年までの再生利用等実施率目標値60%を大幅に上回っているが、令和3年度の94.6%を下回る結果となり、焼却処分としている旭川市の飲食店食品廃棄物発生を減量させるよう、管理徹底に努める。		
実績評価	・主に中央店の惣菜部門の管理徹底により、生ゴミ発生量を大幅に削減した。 ・新型コロナウイルス感染の影響で縮小した飲食店部門の営業拡大に伴い、焼却処分量は増加した。		
	※令和5年度の食品廃棄物再生利用率は、85.4%で全て飼料化されている。		

(5) コピー用紙使用量を毎年1.0%削減

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(kg)	872	863	854
(修正目標)		820	812
実績(kg)	828	816	851
目標比(%)	95.0%	99.5%	104.8%
評価	達成	達成	未達
取組内容	・会議資料等は両面印刷・縮小印刷で紙ベースの資料枚数を削減、健康ステーション関連のコピー用紙使用量も引き続き削減に努め、報告・連絡等はウェブメール等を活用する。 ・内部資料は極力裏面を再利用するが、無駄な印刷をしないよう呼びかける。		
実績評価	・取組方針を徹底したが、経理システムの変更に伴いプリント量増大し、目標を達成出来なかった。 ・2023年10月から実施の「インボイス制度」に伴う請求書様式の変更により、用紙使用量の増加がしてしまった。		

4-2. 令和5年度の実績と取組

(6) レジ袋辞退率91%を維持

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(%)	91%	91%	91%
(修正目標)			
実績(%)	91%	91.0%	91.0%
目標比(%)	100.0%	100.0%	100.0%
評価	達成	達成	達成
取組内容	・レジ袋の購入単価が1枚3円を上回ってきたことから、令和4年7月より1枚4円に引き上げることで、レジ袋辞退率を更に増加させる契機とする。 ・プラスチックごみ減量のため、引き続きマイバッグ持参率の維持向上に努める。		
実績評価	・令和4年7月1日から1枚3円から4円に引き上げることで、レジ袋辞退率を更に増加させる契機としたかったが、91%の辞退率は達成したもののほぼ現状維持となった。		

5-1. 令和6年度からの中期環境目標

項目	単位	R05年度(基準年度)	R06年度目標	R07年度目標	R08年度目標
CO2排出量	kg-CO2	1,046,048	1,035,587	1,025,231	1,014,978
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
水使用量	m ³	5,878	5,819	5,760	5,702
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
一般ごみ排出量	kg	46,203	45,740	45,282	44,829
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
食品廃棄物排出量	kg	18,916	18,726	18,538	18,352
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
コピー用紙使用量	kg	851	842	833	824
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
レジ袋辞退率	%	91.0	91.0	91.0	91.0
			前年維持	前年維持	前年維持

5-2. 令和6年度の取組

(1)CO2排出量を毎年対前年比1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(kg)	1,035,587	1,025,231	1,014,978
令和6年度の取組	・引続き、調光可能な照明設備の調光を継続する。 ・飲料等の冷蔵ケースの一定時間の電源オフも継続する。 ・老朽化した冷凍・冷蔵設備、照明設備を更新し、使用電力量削減に努める。		

(2)水使用量を毎年対前年比1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(m)	5,819	5,760	5,702
令和6年度の取組	・引続き、朝礼等で節水について繰り返し教育を図り、更に徹底を図る。 ・節水器具等の活用により、節水について更に調査・改善を図る。		

(3)一般ごみ排出量を毎年対前年比1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(kg)	45,740	45,282	44,829
令和6年度の取組	・一般ごみの分別基準を今一度社内に周知し、再生可能な資源ごみの焼却を減少させるよう、更に分別を徹底する。 ・手洗では可能な限りジェットタオルを活用、ペーパータオル使用減少に努める。		

(4)食品廃棄物排出量を毎年対前年比1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(kg)	18,726	18,538	18,352
令和6年度の取組	・スーパーの惣菜部門は、製造計画精度向上と発注量適正化、管理徹底により削減を図る。 ・令和5年度再生利用率は、85.4%と食品リサイクル法に基づく食品小売業の2024年までの再生利用等実施率目標値60%を大幅に上回っているが、令和4年度の89.3%を下回る結果となり、焼却処分としている旭川市の飲食店食品廃棄物発生を減量させるよう、管理徹底に努める。		

(5)コピー用紙使用量を毎年対前年比1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(kg)	842	833	824
令和6年度の取組	・紙ベースの会議資料等削減の更なる徹底を図る。 ・令和5年10月から実施の「インボイス制度」に伴う請求書様式の変更により、書類の印刷が増加しているが、印刷の必要性見直しにより、削減を図る。		

(6)レジ袋辞退率91%を維持

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(%)	91.0%	91.0%	91.0%
令和6年度の取組	・プラスチックごみ減量のため、引き続きマイバッグ持参を呼びかけ、レジ袋辞退率の向上に努める。		

6. 環境に配慮した商品として、ラベルレスの飲料水・乳酸菌飲料等の販売に努めた。
7. 2017年11月から中央店2階に「ホクノー健康ステーション」を開設、健康寿命を延ばすために、超高齢社会となった地域と連携した取組を実施中である。
8. ホクノー園についての環境負荷は微量である。
9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1)罰則、行政指導に関わる義務規程について、違反及び関係機関から指摘はなかった。また、訴訟等もなかった。以下に遵守している主な環境関連法規制を示す。

法律等の名称	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適合
事業系一般廃棄物の扱い(札幌市、旭川市)	適合
消防法	適合
札幌市火災予防条例	適合
容器包装リサイクル法	適合
厨房排水における札幌市、旭川市からの指示	適合
フロン排出抑制法	適合
札幌市生活環境の確保に関する条例	適合

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 環境経営方針の見直し

2021年度策定の環境経営方針については、環境目標の達成状況を踏まえ今年度も継続とし、E A 2 1 認証活動を通じて環境経営方針に基づく環境目標達成のための役割分担徹底を図ることとする。

(2) 環境目標及び活動計画の達成状況

令和5年度は、2017年版ガイドラインに沿った形で見直した中期計画の3年目であった。環境目標について、新型コロナウイルス感染拡大による営業・環境活動への影響が尾を引いている部分もあり、単純に評価はできないが、前年度同様6項目中5項目で目標達成となった。

- ① 「CO₂排出量1.0%削減」は、継続的に照明設備の調光や大規模施設の照明の一部間引き、飲料水等冷蔵ケースの電源オフを実施、冬場の暖房熱供給の節減や積雪量減少に伴うロードヒーティングボイラーの運転減少、全面改装店舗の省エネ機器導入等により、前年対比12.2%削減し、目標達成となった。
- ② 「水道水利用量の1.0%削減」は、改装・事故により2店舗各1カ月の休業が影響がし、前年対比0.4%の削減ではあったが、目標達成となった。



- ③ 「一般ゴミ排出量1.0%削減」は、新型コロナウイルス感染防止のためのペーパータオル大量消費が続いた前期目標未達となったが、分別の徹底と再資源化への意識付け図り、目標達成となった。
- ④ 「食品廃棄物排出量を1.0%削減」は、主にスーパーの惣菜部門の管理徹底により大幅な削減となり、前年対比△15.9%と大幅に削減、目標達成となった。
- ⑤ 「コピー用紙使用量1.0%削減」は、紙出力資料の削減や報告連絡のウェブ活用によって使用量と印刷物削減を図ったが、経理システムの変更に伴う確認のための印刷枚数の増加により、前年対比4.2%増加してしまい、目標未達となった。
- ⑥ 「レジ袋辞退率91%を維持」は、令和4年7月以降レジ袋価格1枚3円から4円への引上げにより更に増加させる契機としたかったが、91%と現状維持に止まった。
エコアクション21認証18年目となる次年度、引き続き法令遵守、地域貢献を念頭に行動していく。
特に高齢化社会における地域環境の保全を考慮したい。

(3) 環境目標の見直し

- 令和6年度からの新たな中期環境目標策定に際して、「CO₂排出量」「水道水利用量」「一般ゴミ排出量」「食品廃棄物排出量」「コピー用紙使用量」の各項目は、令和5年度実績を基に各期対前年比1.0%の削減を目標とし、「レジ袋辞退率」については91.0%の前年を維持する目標設定とした。
- 環境負荷軽減活動は、企業経営の効率向上と経費削減に直結することから、今後も引続き生産性向上など経営課題解決を図る一つのチャンスと捉えて行きたい。

(4) 環境システムの実施体制

- 現状、環境活動計画について、各拠点における管理者、従業員の意識が最も重要と考えることから、会議等でPDCAサイクルに基づき、計画を明確にして着実に遂行するため、実施体制に変更の必要性はないと考えるが、担当者退職より監査担当者を変更する。